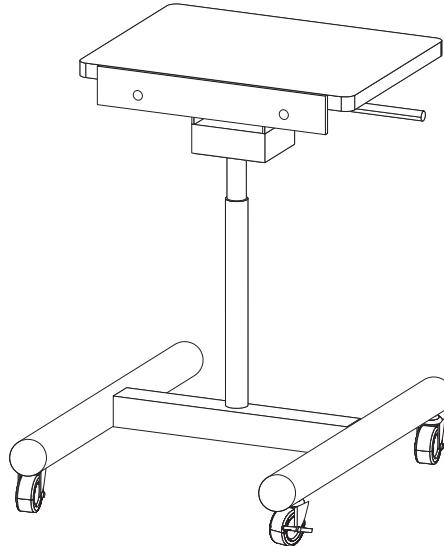


このたびは、昇降傾斜作業台をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。塗装は粉体塗装でサビ・キズ等に強く、汚れも目立ちません。工場倉庫・店舗で、末永くご使用いただけます。

●1台あたりの最大荷重

天板の等分布耐荷重 (天板全面に均等に物を置いた場合)	均等耐荷重
KUD-6045W	
KUDH-6045W	30kg



積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
※「均等の耐荷重」とは、棚板の表面、または引出しの中へ均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計量をいいます。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や、他の人への危険や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



誤った使いかたをすると「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■耐荷重以上の荷物を置かない。

テーブルが傾いたり、棚板が曲がったりして危険です。

■足をかけたり、よじのぼったりしない。

転倒したり、棚板が破損したり、足を滑らせて、けがをするおそれがあります。

■不安定な場所に置かない。

テーブルが倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。



誤った使いかたをすると「損傷または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。

転倒や転落事故の原因になります。

■直射日光の当るところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。

変色や変形の原因となります。

■使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直して下さい。

ゆるんだまま使用していると、変形や破損及び転倒などの原因となります。

■製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。

変色や変形の原因となります。

■製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。

■製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。

■可動部(傾斜部、キャスター)の隙間に指を入れると、指をはさむおそれがありますので絶対に入れないで下さい。

■ポリエチレン化粧板は比較的衝撃にもろい性質がありますので、衝撃を加えますと損傷の原因となります。

■この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を充分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

■特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。

■この製品は、室内または屋内用です。

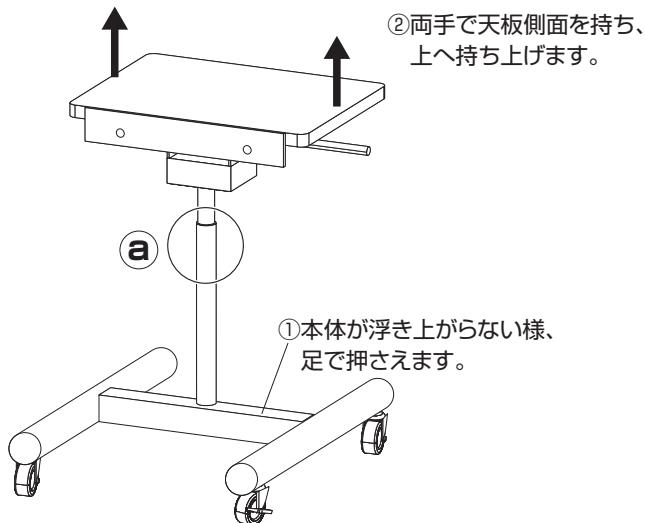
■製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。

1 天板高さの調整方法（必ず荷物を降ろしてから行って下さい）

天板高さは、700(800)~900(1000)mmまで、20mm毎の高さ調整が可能です。
※（ ）内寸法はKUDHタイプになります。

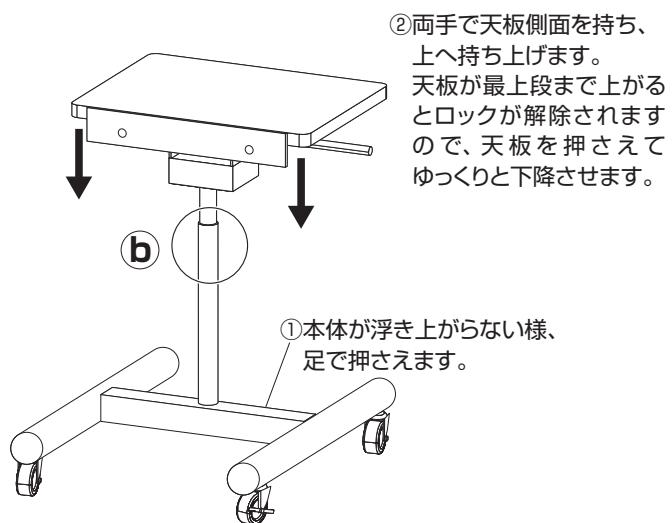
天板高さを上げる場合



②両手で天板側面を持ち、
上へ持ち上げます。

①本体が浮き上がらない様、
足で押さえます。

天板高さを下げる場合

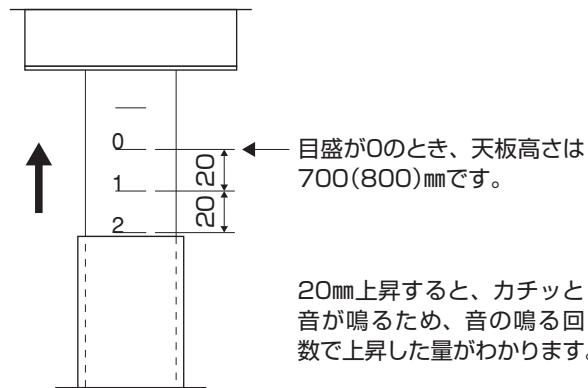


②両手で天板側面を持ち、
上へ持ち上げます。
天板が最上段まで上がる
とロックが解除されます
ので、天板を押さえて
ゆっくりと下降させます。

①本体が浮き上がらない様、
足で押さえます。

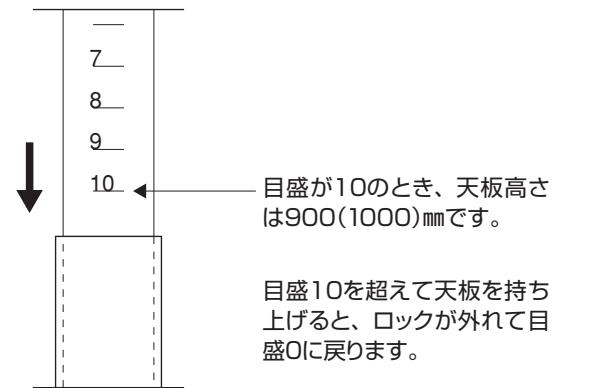
②両手で天板側面を持ち、
上へ持ち上げます。

①本体が浮き上がらない様、
足で押さえます。



目盛が0のとき、天板高さは
700(800)mmです。

20mm上昇すると、カチッと
音が鳴るため、音の鳴る回
数で上昇した量がわかります。



目盛が10のとき、天板高さ
は900(1000)mmです。

目盛10を超えて天板を持ち
上げると、ロックが外れて目
盛0に戻ります。

2 天板の傾斜方法（必ず荷物を降ろしてから行って下さい）

天板は、0(水平)~60°まで20°毎の傾斜が可能です。

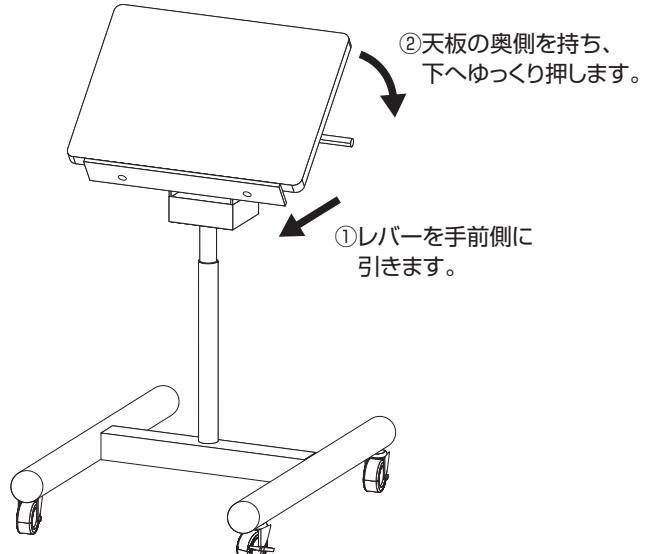
傾斜角度を上げる場合



②天板の奥側を持ち、
上へ持ち上げます。

①レバーを手前側に
引きます。

傾斜角度を下げる場合



②天板の奥側を持ち、
下へゆっくり押します。

①レバーを手前側に
引きます。